

神奈川

# 竹島武道具

匠の技が宿る、武の至宝



## 真心を込めた接客

豊富な知識と経験を持つスタッフが、親切丁寧にお客様一人ひとりに最適な商品との出会いを演出します。



## メンテナンス対応力

当店では、熟練の職人たちが店内で直接修理を行います。外注の工程をなくすことで、急ぎの修理にも対応します。



## 国産の高品質な防具

国内生産にこだわり抜いた、唯一無二の高品質な竹島オリジナルの防具をご提供します。

# 竹島武道具の歴史

## 竹島武道具とは

竹島武道具は、1957年に鹿児島県西出水で創業しました。  
オリジナル武道具【武骨(ぶこつ)】をはじめ、  
剣道具を中心とした様々な武道具を取り扱っております。



初代 竹島一夫



会長 竹島邦生



社長 竹島睦祥



2003年 開業  
宿河原店



2006年 開業  
相模原店



2007年発売  
『武骨』



竹島パンダ

### 竹島武道具のあゆみ

### 社会の動き

- |       |   |       |                |
|-------|---|-------|----------------|
| 1920年 | 創業者である竹島一夫が誕生。幼少期には長崎県の剣道具店で修行                    | 1923年 | 関東大震災          |
| 1946年 | 竹島一夫の長男である竹島邦生(現会長)が宮崎県延岡市で誕生                     | 1945年 | 第二次世界大戦終戦      |
| 1954年 | 竹島睦祥(現社長)誕生                                       | 1964年 | 東京オリンピック開催     |
| 1957年 | 鹿児島県西出水に最初の店舗が設立                                  | 1970年 | 第1回世界剣道大会日本優勝  |
| 1972年 | 「竹島スポーツ店」が商店街通りに出店                                | 1973年 | オイルショック        |
| 1983年 | 現会長の竹島邦生が神奈川県に移住。川崎市麻生区柿生アパートにて祖母とともに剣道具の修理専門業を開始 |       |                |
| 1988年 | 川崎市麻生区百合丘の1軒屋にて、祖母、会長、社長3人体制で剣道修理、剣道名札作成を開始。取引先拡大 |       |                |
| 1991年 | 川崎市多摩区宿河原に空き家を探し、店舗を開業。修理業と小売を開始する                | 1991年 | バブル経済の崩壊       |
| 1999年 | ホームページ開設  | 1995年 | 阪神・淡路大震災       |
| 2003年 | 現在の宿河原店に移転  |       |                |
| 2006年 | 相模大野店が開業  |       |                |
| 2007年 | オリジナルブランド『武骨』発売                                   |       |                |
| 2008年 | 竹島パンダ登場   |       |                |
| 2011年 | ECサイト開設   | 2011年 | 東日本大震災         |
| 2013年 | 武骨シリーズダーク販売開始                                     |       |                |
| 2015年 | 武骨jp国産シリーズ販売開始                                    | 2019年 | 令和時代の開始        |
| 2021年 | 武骨3rdシリーズ販売開始                                     | 2020年 | 新型コロナウイルス感染症流行 |
| 2022年 | 武骨ファースト・武骨ライナー・武骨クロス販売開始                          | 2021年 | 東京オリンピック開催     |

# 竹島武道具の想い

代表取締役社長 竹島 睦祥 Mutsuyoshi Takeshima



昭和28年生まれ  
宮崎県延岡市出身  
趣味:スポーツ観戦  
好きな食べ物:肉料理全般

## 小学生から高段者まで 一貫して親しみやすく

弊社は創業から70年以上、家族と共に経営してきました。父と母が鹿児島県で剣道具の製造を始めたのが最初で、私も小さい頃から工場に出入りしていました。その後、神奈川県に移ってからも修理や製造を続け、少しずつお店を大きくしてきました。剣道具の製造と修理においては、安全性と耐久性に優れた長く愛用できる商品を提供することを最も大切にしています。またお客様対応においては、どのお客様にも、平等で親しみやすい対応を心がけています。小学生でも高段者でも、同じように接するのが基本です。剣道具は長く使うものなので、その人の剣の道に合った最適な商品をおススメすることを最優先にしています。今では親子三代で防具を買いに来てくれる常連さんもいて、それはとても嬉しいですね。

今後も店内のスペースを活かして、多くの人に楽しんでもらえる店舗作りを目指し、剣道の魅力を広く伝えていきたいと考えています。

取締役 竹島 将司 Shoji Takeshima

## お客様一人ひとりとの関係を大切にしています

私は凝り性な性格で、入社当初から剣道具の知識を深めるために社長やメーカーから学び、時には全国のメーカーを訪れて実地で学んできました。修理技術も現場で習得し、実践で覚える姿勢を大切にしています。現在は接客と営業を中心に、防具のデザインや発注も担当しています。また最近はSNSの運営も行い、製品情報を積極的に発信しています。接客においては、お客様一人ひとりとの関係を大切に、個々に合った商品提案を行い、長くお付き合いできるよう努めています。もともと人に教えるのが好きなので、初めての防具の選び方から、洗濯の仕方や手入れの方法まで、時には主婦目線でアドバイスすることもありますね(笑)。

今後は、これまで以上にお客様一人ひとりとの距離を縮めていきたいと思っています。店舗だけでなく、ネット販売も強化し、より多くの方に竹島武道具の魅力を伝えていきたいですね。



昭和47年生まれ  
鹿児島県出水市出身  
趣味:ギター・釣り  
好きな食べ物:焼き鳥(特に鳥皮)

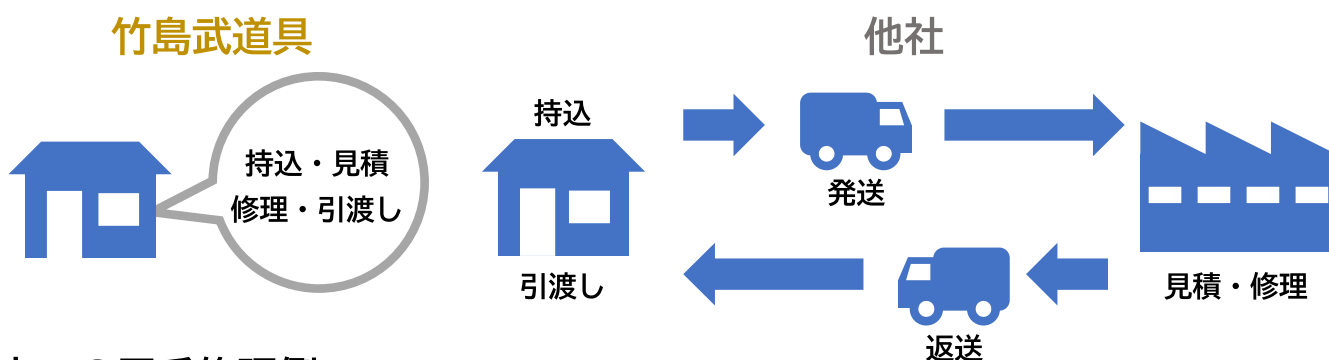
# 武道具への愛情

買って終わりではありません。購入後も、その後もずっと。  
- 購入からクリーニングまでおまかせ -

## 竹島武道具の修理

竹島武道具は、店内で見積・修理のため、移動時間がかからないので早いです。

お客様の相談にも個別対応いたします。



## 自社内での甲手修理例



上記の修理の様子は動画で公開しております。是非見てください。

詳しくはこちら



## 武道具屋から一言



竹島武道具は自社で修理\*を行うので、早く対応できます。試合前の武道具の急なトラブルもご相談ください!他店では受け付けていない、持込品の修理も歓迎します。  
おすすめのメンテナンス方法もお教えできますよ! \*一部外注もあり

# 練習が、試合が、楽しくなる

職人による即日名入も可能です。デザインご相談ください。  
お手入れの方法もご教示いたします。

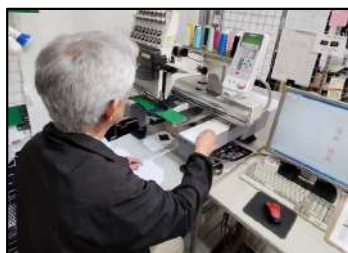
## 刺繍

道着、袴、竹刀袋にお名前を入れることができます。職人がデザインのご相談も賜ります。

当社のお買い上げ品には、サービスで個人名の刺繍を行います。(一部商品のみ)



持込画像も店内で縫製



豊富な色から選択可能、店内縫製



## レーザーマーク



鍔、竹刀、トロフィーへの名入



宿河原本店保有レーザーマーカ

当社保有のレーザーマーカにてアクリル、竹、革、各種素材に刻印できます。

【剣道部引退】贈り物におすすめの名入れ鍔ランキングを紹介しております。

詳しくはこちら



## お手入れ



洗い方ひとつで高価な剣道衣が傷んでしまうだけでなく、色落ちしたり、洗濯機の中までも大変な事態にさせてしまいます!日々のお手入れの方法をお店でもお教えします。剣道衣の素材による洗濯の方法、おすすめの洗剤、乾燥方法まで詳しく解説しています。

詳しくはこちら



# 国産・高品質な防具-武骨-

古来の武士の精神と現代の技術が  
出会う場所、それが『武骨』

## 『武骨』の誕生秘話

竹島武道具店の「武骨」は、中国視察中のひらめきから誕生しました。  
中国を視察している際、販売されていた甲手の中に縫い目が粗い（ピッチが雑な）ものがありました。その粗さに格好良さを感じ、面にも同様の手法を適用できないかと考え、日本で製作することにしました。  
また「武骨」というネーミングは、イメージから付けられました。その想いは、ゴツゴツとした凸凹を表現しています。「無骨な奴」「頑固な奴」といった印象で、外見は洗練されていないかもしれませんが、本質的には優れているというイメージを「武骨」という言葉に込めています。



## 『武骨』の特長

### 変則的なステッチ



武骨一番の特徴は変則刺です。剛性の高い3mmステッチと柔性の高い6mmステッチを組み合わせた異なる刺しは衝撃吸収力に優れています。武骨は『軽量なのに衝撃に強い』最高の機能性を持つ防具なので、試合や日々の稽古であなたを守ります。また、『武骨JP』は国内の工場で職人の手によって一点一点心を込めて仕上げます。妥協なき品質追求が、着用者の身体と心を守る最高峰の防具を生み出します。

## 『武骨』ご愛用者様の声

「武骨シリーズの見た目に一目惚れしました。従来の剣道具とは一線を画す独特な風合いがあり、とてもかっこいいです。」  
「衝撃吸収性能が高く、激しい試合でも体への負担が少ないのを実感しています。」

## 『武骨』のラインナップ



「武骨」は多くのお客様のニーズにお応え出来るように複数のシリーズをご用意しております。ステッチを交差させた人気モデルの「CROSS」やこれから剣道を始める初心者の方向けのエントリーモデル「PLUS5」等、幅広いシリーズを取り揃えています。

詳しくはこちら



# 宿河原本店ご紹介

最高峰「武骨」シリーズから、エントリー品まで、宿河原本店では長く使っていただける武道具を提供します。

## 店内紹介

神奈川県内武道具店で最大級の店舗面積(98m<sup>2</sup>)で、多数の商品を取り寄せております。

店内で修理・刺繍可能です。武道具持込の上、修理相談ください。



竹刀多数。  
メーカー各社  
より取り寄せできます。

道着、袴は豊富な種類・サイズ  
を在庫からお選びいただけます。



オリジナル製品  
多数販売しております。

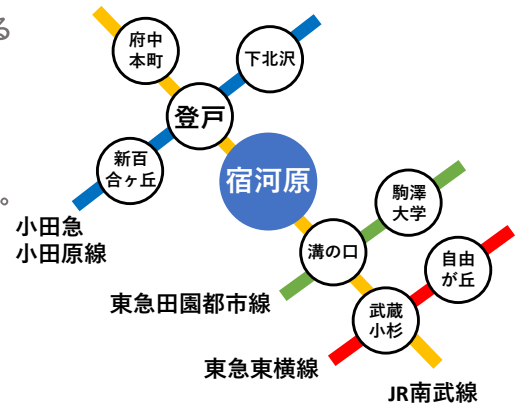


最高峰「武骨」シリーズ、  
是非ご覧ください。

## アクセス

神奈川県と東京都の県境にある  
宿河原駅。都内、川崎からも  
アクセス良好です。

店舗横に駐車スペースあります。



## スタッフ紹介

実は、竹島武道具店のスタッフには、現役の剣士はいないんです。

だから、武道具のプロの立場で、初心者から有段者までお客様の要望に応えられます。

竹島淳司  
修理



長年の経験を活かし、お客様と  
相談の上、作業いたします。

竹島奈緒美  
レーザー加工刺繍



個人名、腰板、腕刺繍、自社で  
行っています。

パートさん  
胴組立



昔ながらの手縫いにて、一個  
一個心を込めて作ります。

# 有限会社 竹島武道具

代表取締役 竹島睦祥

〒214-0021

神奈川県川崎市多摩区宿河原3-5-9

電話：044-922-0937

FAX：044-922-9913

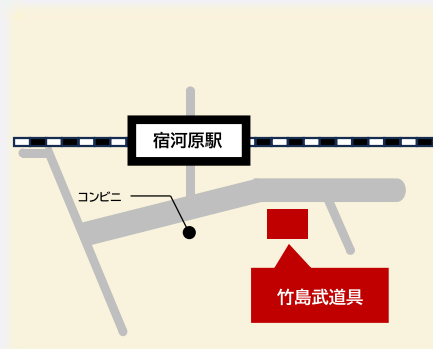
E-MAIL:takeshima@bouguya.co.jp



公式HP

## 店舗情報

### 宿河原本店



〒214-0021

神奈川県川崎市多摩区宿河原3-5-9

営業時間

10:00~19:00

定休日

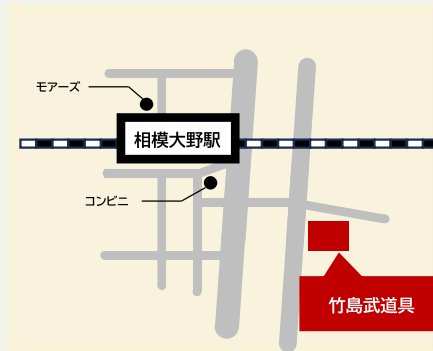
毎週月曜/第2火曜日

電話:044-922-0937

FAX:044-922-9913

JR南武線 宿河原駅より徒歩1分

### 相模大野支店



〒252-0318

神奈川県相模原市南区上鶴間本町4-14-10

営業時間

平日12:00~19:00/土日祝11:00~19:00

定休日

毎週月曜/火曜日

電話:042-702-4662

FAX:042-702-2422

小田急線 相模大野駅より徒歩8分

公式オンラインストアでもお買い求めいただけます

